組織名 公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

1 組織概要

所在地	京都府京都市下京区西木屋町通上ノロ上る梅湊町83番地の1 「ひと・まち交流館 京都」地下1階
TEL	075–354–8701
FAX	075–354–8704
URL	http://kyoto-machisen.jp
e-mail	machi.info@hitomachi-kyoto.jp
設立	1997年10月1日
設置都市等	京都市
代表者	青山 吉隆(理事長)

2 組織動向

2 組織動向			
(1)沿革			
設置経緯	京都市まちづくり審議会第一次答申(平成3年11月)における、住民の自主的なまちづくり活動を支援する第三者機関の設立に関する提言と、世界文化自由都市宣言に基づく第2次提案(平成6年12月)における、市民・企業・行政が協働して、参画する活動拠点となる「まちづくりセンター」の設立に関する提言を受けて設立		
見直しの動向			
役割(2017年時点)	歴史都市・京都の美しい景観と良好な環境づくりを目指した市民、行政、企業、大学等の協働によるまちづくりを広く支援、誘導する諸活動を通じて、京都の都市としての品格を高めるとともに、住民主体のまちづくりの実現と都市活力の向上に寄与することを目的とする。		
(2) 組織体制			
設置形態 <u>(択一)</u>	□ 自治体の内部組織 □ 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) □ 公益法人(財団法人・社団法人) □ 大学の附置機関 □ 広域連合 □ その他		
常勤職員数	14 人		
うち常勤研究員数	0人		
非常勤研究員数	0 人		
専門性確保に関する特徴 <u>(複数選択可)</u>	□ 専門的な知識を有した研究員の採用 □ 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) □ 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 □ 設置市の企画部署と連携した研究の実施 □ 設置市の関係部署と連携した研究の実施 □ その他 □ 特に行っていない		
庶務体制	組織内部で分担して行っている。		
市民参加、外部連携	京都市文化財マネージャー育成実行委員会 NPO法人 京都景観フォーラム		
(3)会計			
	オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2017年度予算	49,303 千円		
2016年度決算	38,638 千円		
2015年度決算	35,088 千円		
	順位 収入種別		
<u>自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)</u>	1位 事業収入		
	2位 補助金等収入		
	3位 寄付金収入		
	4位 基本財産運用収入		
<u>自治体の内部組織</u> の場合の 事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	1位		
	2位		
	3位		
	4位		
	+ 22		

組織名	公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

3 活動動向

(1)活動実績				
	調査研究名	調査研究の概要 (研究成果を閲覧できる機関(国会図書館等)や URLがある場合は末尾に記入)		
2017年度に実施した 調査研究				
定期刊行物	ニュースレター「京まち工房」(年4回)			
(2)活動のマネジメント状況				
ア テーマ決定 (複数選択可)	□ 設置市からの要請 □ 外部有識者等からの助言・示唆 □ 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 ☑ 貴団体・組織で自ら発案 □ その他			
イ 情報発信 <u>(複数選択可)</u>	 □ 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う □ 設置市の関係部署に、報告や提言を行う ☑ 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する □ 報告会を実施する □ 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニューズレター等で周知する □ その他 □ 特に行っていない 			
ウ 活動の評価とその反映 <u>(複数選択可)</u>	□ 設置市の行政評価制度により評価を受けている □ 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている □ 外部有識者から評価を受けている □ 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている □ その他 □ 特にそういう機会はない			

4 特記事項

4 特記事項	
研究員の業務分担	
研究員の専門性 育成の手立て	
研究員のキャリアパス等	
その他	